

令和元年度特定健診・特定保健指導法定報告結果

令和元年度の特定健診・特定保健指導について、国へ実績報告（法定報告）をしましたので、下表のとおり当組合の実施計画と併せてお知らせします。

【目標値及び実績値】（表1）

（単位：％）

		第一期計画			第二期計画					第三期計画	
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
特定健康診査	目標値	50	60	70	45	50	55	60	70	45	50
	法定報告値	34.3	39.0	40.7	41.6	43.9	45.2	46.2	46.0	46.7	47.4
特定保健指導	目標値	30	40	45	20	20	25	25	30	20	20
	法定報告値	4.9	15.9	23.8	22.4	29.6	28.4	25.2	21.8	17.2	21.0

令和元年度の特定健診・特定保健指導の実績評価

令和元年度の特定健診・特定保健指導の実施結果は、特定健診が目標値50％に対して実施率47.4％（対象者3,161名、受診者1,498名）、特定保健指導は目標値20％に対して実施率21.0％（対象者271名、受診者57名）となりました。特定健診は微増ながらも過去最高値となり、特定保健指導は26年度以降下降し続けていた実施率が上昇に転じる結果となりました。（表1、図1）

特定健診

- 特定健診の受診方法は、人間ドック及び一般健診が77.1％（前年度比+1.9％）、定期健診・レディース健診が4.9％（同+0.5％）、特定健診単独受診が13.0％（同-2.1％）、その他（安衛法の健診データ受領等）が5.0％（同-0.3％）となり、依然として検査項目の多い健康診査に受診が偏った状況となっています。
- また、男女別の健診受診率は、男性50.7％（前年度比+0.6％）、女性42.8％（同+0.7％）となり、男女間で7.9％の開き（前年度8.0％）がありました。男女間での受診率の差は前年度から横ばいで推移しており、引き続き女性の受診率が低いことがうかがえます。

特定保健指導

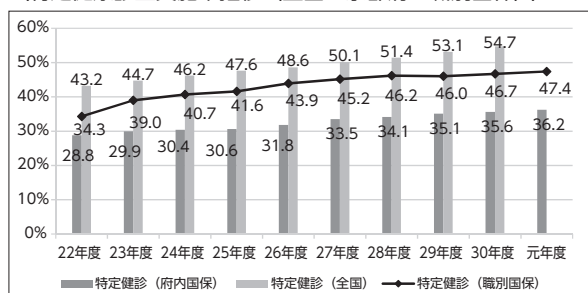
- 特定健診受診者における特定保健指導の対象者割合は18.1％（前年度比+1.4％）で、その内訳は「積極的支援」が51.5％、「動機づけ支援」が48.5％となりました。
- 男女別の特定保健指導実施率では、男性19.8％（前年度16.1％）、女性27.3％（同23.1％）となり、男女ともに増加しました。また、特定保健指導の対象者及び利用者の内訳は、対象者が271名（男性227名、女性44名）、利用者が57名（男性45名、女性12名）、となり、前年度と比較して対象者と利用者のいずれも増加している状況にあります。

全国、京都府国保との比較

- 平成30年度の特定健診・特定保健指導の実施結果について、当組合と全国及び京都府国保と実施率を比較したところ、特定健診はこれまでと変わらず、京都府国保を上回り全国を下回っている状況ですが、特定保健指導については、全国及び京都府国保のどちらも下回る結果となりました。（図1）

【特定健康診査・特定保健指導 実施率年度推移（全国、府内国保、職別国保）】（図1）

〈特定健康診査実施率推移（全国・京都府・職別国保）〉



〈特定保健指導実施率推移（全国・京都府・職別国保）〉

